

# 会報 No.305



# キャリア・コンサルタント

2020年（令和2年）6月10日

[発行] キャリア・コンサルタント協同組合

発行責任者：渡邊 健三

〒102-0052 東京都千代田区神田小川町 1-8-3  
小川町北ビル 8F

Tel: 03-3256-4167 (代表)

直通電話：営業本部 03-6821-7544

：外国人材受入事業部

03-6826-7789

Fax: 03-3256-4168

E-mail：[会報編集部] henshu@ccco.jp

[事務局] jimukyoku@ccco.jp

[営業本部] eigyo@ccco.jp

URL： <http://www.occ.or.jp>

<http://www.ccco.jp>

編集長：田中 努

編集者：平松靖弘 影山和子 大野長壽

中野 忠 福田秀樹

---

## 1. 新たな体制で CCK スタート

理事長 渡邊 健三

## 2. プライバシーマークを活用しよう

顧問 榎木 義彦

## 3. 事務局だより

事務局長 平松 靖弘

一粒万倍

---

## 1. 新たな体制で CCK スタート

理事長 渡邊 健三

2020年5月28日（木）第25回通常総会が、組合会議室にてWEB参加の方も交えて開催され、2019年度事業報告および2020年度事業計画が組合員全員の承認を得ました。今年は理事・監事の任期満了に伴い、理事については再任8名と新任2名、監事再任1名と新任1名、顧問2名の新任を提案し、全員承認されました。

2019年度は2020年2月ころから新型コロナウイルスによる影響が社会・経済に出始めてきましたが、設定した目標に対して一部未達成の部分はありながらも、全体として前年度を上回る結果を残すことができました。その結果、約30万円の当期末繰越利益を計上できる決算となりました。これは、組合員、賛助会員および関係する団体・個人の皆様のご協力・ご支援があつて可能となったことと感謝しております。

2020年度は、新型コロナウイルスが及ぼす世界および日本経済・生活様式への影響、海外で収まりを見せない感染状況、日本で予想される秋以降の第2波、アメリカと中国の覇権争い、アメリカの人種差別問題など、今までに経験したことのない状況に陥る可能性が出てきているように感じます。日本では官僚主義が蔓延し、政治が政治になっていないように映ります。

日本経済は、どのような青写真を描いて世界経済をリードしていくのか、人の交流が難しくなる中で労働力確保をどのようにしていくのか、コロナで浮き彫りになった工場の立地場所、世界的なサプライチェーンをどのようにしていくのか等々、問題は山積しています。

課題山積の中で一層官民一体となった取組の必要性が求められているときではないでしょうか。当組合の持つ力を存分に発揮できる環境になってきたとも言えます。私たちの基本理念である、中小企業の経営改善・課題の解決・組織体制の強化等を再認識し、企業から求められるコンサルティングとは何か、をさらに追及し、頼られる存在となるべく以下の方針で取り組むことが確認されました。

- ・指名競争入札制度による官公需受注への取り組み強化
- ・経営コンサルティング事業の深掘り
- ・IT事業強化と受注拡大
- ・セミナー・研修事業の充実と拡大
- ・外国人材受入事業強化

以上の柱に加えて、補助金取得支援、業務請負、マイデスク等各事業の受注拡大を図り、トータルとして予算必達を強力に目指していくことが確認されました。

日本は高齢化がますます進んでいます。当組合にも押し寄せています。新入組合員の勧誘には常日頃から心がけて、私たちとともに活動できる方に加入していただき、当組合の事業活性化につなげていきたいと考えます。

最近、日本はもとより世界各地で気候変動の顕著化による超巨大台風・洪水・土砂崩れ・干ばつ・虫害、大きな噴火、地震が多発しています。東京直下型地震も取りざたされています。自らの身は自ら守るが基本ではありますが、帰宅困難に対応して事務所における対策を点検し、備えておく必要があると考えます。

皆様におかれては健康管理、新型コロナウイルス対策には十分留意していただき、昨年度に引き続き当組合の事業に、より一層のご協力をお願いいたします。これから新たな体制で CCK がスタートします。今年一年どうぞよろしくお願いいたします。

## 2. プライバシーマークを活用しよう

顧問 榎木 義彦  
(個人情報管理責任者)

プライバシーマーク（略称“Pマーク”）については、会報でも何回かご紹介していますが、去る3月6日にこの制度を推進するJIPDEC（一般財団法人日本情報経済社会推進協会）より、正式に認可（“プライバシーマーク付与的確”企業）の通知があり、3月末までに契約を締結しました。（このPマークについては、“資格取得企業”につきこういう表現をします）ちなみにわが国には約144万社の企業（その大半は非上場の中小企業）がありますが、そのうちPマークの付与的確企業の割合はわずか1%の1万5千社ですから、希少価値があるとも言えましょう。

CCKのPマーク取得への取り組みは2018年半ばから始まっていますので、約1年半を要してのことになります。（この間に主として取り組んでいただいた竹内さんの急死というアクシデントはありましたが）

CCKがPマーク取得に取り組んだ目的はおおよそ次の通りです。

1. 情報システムの開発をはじめとしてコンサルタント事業の各分野で個人情報を取り扱う業務が多い。
2. CCKが客先のPマーク取得を進めるコンサルタントを行っている。
3. 官公庁の入札をはじめとして、営業活動を進める上でPマークの保有を条件とするケースが増えている。等です。

CCKとしては、このPマーク取得に際し、約130万円の費用を要しました。これだけの時間と費用を掛けたわけですから、是非有効に活用したい、また活用していただきたいと考え、お願いする次第です。

具体的にはどのような活用方法があるのか。当面考えられるのは次のとおりですが、今後この範囲にとらわれず制度の範囲を逸脱しない限り幅広く活用していただきたいと思います。

1. 名刺へのPマークロゴの刷り込み
2. 同じく組合案内や事業毎のパンフレットへの刷り込み
3. Pマーク取得を条件とする官公庁や大手企業案件への積極的な挑戦。
4. CCKが行うイベント等での積極的PR

コンプライアンス違反によるリスクやサイバー攻撃、標的型メールの巧妙化など、事業者における個人情報のリスク対策は単にセキュリティの強化だけにとどまりません。リスクを顕在化させないための取り組み、また、万が一事故などが発生した場合の体制や対応手順の整備、緊急事態の適切な対応と再発防止による管理体制の強化など、組織内部としての“個人情報保護マネジメントシステム(PMS)”のレベルアップに努めながら、対外的に利用価値を高めて行きましょう。

### 3. 事務局だより

事務局長 平松 靖弘

●前期、第25期の通常総会(2020年3月期)は5月28日(木)午後3時より事務局の会議室で開催されました。今回は新型コロナウイルスの影響で、WEBでの会議が行われ、関西や東海地方の組合員の参加が実現され、新しい会議形式として実施されました。財務的には収入は63,094千円、事業利益は303千円、税引前利益は603千円でした。また出資金1口あたりの資産も1万円を引き続き上回っています。第25期はコンサルタント事業が前年比127%、外国人材受入事業は103%となり順調に業績を伸ばせました。

第25期の事業報告及び決算報告、第26期の事業計画、収支予算、賦課金等の徴収方法、任期満了による役員(理事・監事)と顧問の選任などの議案を討議し、承認されました。

尚、総会終了後の懇親会は新型コロナウイルスの影響で行ないませんでした。組合員・賛助会員を中心に一年の活躍の労と新年度の事業展開など感謝申し上げます。

●第 26 期・27 期の役員（理事及び監事）及び顧問の方々は次の通りです。

理事：	渡邊 健三（再任）	代表理事・理事長
	神力 愛晴（再任）	副理事長
	大野 長寿（再任）	副理事長
	平松 靖弘（再任）	常務理事・事務局長
	宮坂 武彦（再任）	
	岡崎 充徳（再任）	
	荻野 徹（再任）	
	福田 秀樹（新任）	監事より理事へ
	佐藤 俊彦（再任）	
	後藤 聡（新任）	㈱サン・テンポラリー代表取締役社長
監事：	下斗米裕英（再任）	
	中野 忠（新任）	中野税理士事務所
顧問：	栩木 義彦（新任）	理事より顧問へ
	田中 努（新任）	理事より顧問へ

●今回の役員改選を受けて、運営会議のメンバーは渡邊健三、神力愛晴、大野長壽、平松靖弘、宮坂武彦、岡崎充徳、栩木義彦、田中努各氏 8 人で構成されます。理事・監事・顧問の役割分担は 6 月 16 日（火）の理事会で詳細が決定されます。

●新型コロナウイルスが治まるまで、当面の間、CCK 研修の集い、異業種交流会、ワインテイスティングの集いなど中止致します。開催が決定次第お知らせします。

#### ●6 月の行事等の予定

7 日（日）BC セミナー 営業 3（10：00）  
9 日（火）運営会議（10：30）  
10 日（水）営業担当者会議（10：30）  
13 日（土）BC セミナー 営業 3（10：00）  
16 日（火）CCK 理事会（13：00）  
21 日（日）BC セミナー 営業 3（10：00）  
24 日（水）営業担当者会議（10：30）  
27 日（木）BC セミナー ロジ 3（10：00）

#### ●7 月の行事等の予定

4 日（土）BC セミナー ロジ 2（10：00）  
6 日（月）BC セミナー CMK（10：00）  
8 日（水）営業担当者会議（10：30）  
13 日（月）BC セミナー CMK（10：00）

14日（火）運営会議（10：30）  
18日（土）BCセミナー Eロジ（10：00）  
19日（日）BCセミナー F労務（10：00）  
20日（月）BCセミナー CMK2（10：00）  
21日（火）CCK理事会（13：00）  
22日（水）営業担当者会議（10：30）  
25日（土）BCセミナー Eロジ（10：00）  
26日（日）荻窪研究会（14：00）  
27日（月）BCセミナー CMK2（10：00）

## 一粒万倍

▲相変わらず、新聞・テレビはコロナ問題で満載です。感染者数は毎日公表されますが、分母が分からない。5月26日に首都圏でも「緊急事態宣言」が解除されたが、6月2日には早くも「東京アラート」が発動された。これは国家ではなく、地方自治体に感染症の対応を任せた結果である。都道府県の知事サン達はまるで選挙運動のごとく毎日、テレビに顔を出している。

▲各地でクラスターが発生し、第二次感染の様相を呈している。目に見えないコロナウイルスが、医療関係者間を漂い、濃厚接触による発症が多いようである。感染経路が不明な陽性患者が多く、人間の移動による感染が多く見られる。また、読売巨人軍の野球選手による「微陽性」なる新しい言葉が生まれた。このところ若い人の発症が多く気になるところである。

▲一粒氏が住む「川崎市特別定額給付金」の申請書類が届き早速、申請をしたが、「アベノマスク」はまだポストに入っていない。マスクは既に、店頭に積み残されているというのに！何百億と言うお金を掛けたムダ金とはこういうことか？日本の政治家は、コロナ禍（コロナ渦？）の中で何をしているのだろうか。渦に巻かれて方向感覚を失っている。

▲人類とコロナウイルスの戦いは正に、第三次世界大戦である。既に40万人を超える死者が発生し、人類が共同で敵に立ち向かわねばならないのに、各国がバラバラに作戦を立て、戦っている局地戦争である。世界が狭くなり距離が近づき往来が激しくなった現在、国境がないのに等しく、水際作戦で感染を防ぐ時代はとうに終焉しているのである。その中でWHOへの、不信感が発生しているのには違和感を覚える。

▲今回のコロナ戦争では、日本の都道府県の知事サン達の行動が目につく。特に小池東京都知事はその豊富な資金力で、まさに国を動かしている様相である。ただ、その資金が底を突く心配が出てきたようである。連日、テレビの映像に登場し、まるで選挙での勝利会見のようである。7月の都知事選挙では競争相手がいない中での戦いになりそうである。